

至誠館大学

科目名	飼育と栽培Ⅱ			コード	1345	
英語表記						
担当教員名	石川 正一			年度	平成28年度	
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2	
授業形態	対面	授業形式	演習	履修形態	選択	
秋から冬にかけての野菜や花を育てたり、身近な小動物を飼育するなど、実際の体験を通して栽培や飼育の技術を習得すると共に、人間とのかかわりについて理解を深める。						
到達目標						
身近な動植物に関心を持ち、人間とのかかわりについて考えられるようになる。また、年間を通して飼育や栽培のための知識や技術を習得する。						
授業計画						
第1回	オリエンテーション 授業内容について説明					
第2回	地域の自然を観察					
第3回	栽培 冬夏野菜を育ててみる 冬夏野菜について調べる					
第4回	種をまき、苗を育てる					
第5回	野菜作りのための土作りを行う① 畑を耕す					
第6回	" ② 肥料を施す					
第7回	収穫する					
第8回	秋から冬の花を育てる					
第9回	植えるプランターや花壇を整備する					
第10回	種から花を栽培する					
第11回	飼育 身近な小動物を探し、観察する					
第12回	飼育する動物について調べる					
第13回	実際に飼育してみる 観察日記をつける					
第14回	成果報告会を行う					
第15回	まとめ					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
際に野菜を育てたり、花を育てたり、身近な小動物を育てる育てる体験ができる。観察日記を提出する。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
		0	50	50	0	0
授業外学習		テキスト、教材				
飼育や栽培は授業の内外を問わず、常に関わる事が求められます。ですから、むしろ授業外での学習が成果になって現れますので、積極的に動植物と関わる事が求められます。		随時配布する。				
参考書		受講生へのメッセージ				
特になし。随時紹介する。		この授業を履修した者は、必ず「栽培と飼育Ⅱ」を履修すること。				
キーワード						
栽培、飼育、育てる、動植物						